写真で見る 活動報告

共に闘った上田市長と木村俊昭氏と

苦しい選挙戦を共にした遊説スタッフ

当選証書授与式

初登庁

出席表に自分の名前が･･･

初の一般質問は緊張しました

『議会改革』について

議員も理事者も、本会議場で一言一句原稿を読み上げる「幼稚園の学芸会のようだ」と揶揄された「答弁調整」。今回の任期からこの「答弁調整」が廃止されました。

最初の質問についてはどのような質問をするか「質問通告」します。そして、その答えをもらう議員も居れば、意見調整をして終わりの議員も居ます。再質問以降は〝真剣勝負〟。理事者側が再質問の答弁に時間が掛かる光景も見られましたが、問題無いと思います。ただ、知事の答弁に独自性が全く無い！最初の質問の通り、同じ答弁を繰り返すのであれば全く意味がありません。知事自らが、本当に自らの言葉で、自らの考えを述べる。ここまで進化して欲しいものです。

さらに、「海外視察」が一年間凍結されましたし、報酬と政務調査費が各5万円引き下げられました。これはあくまで妥協の産物。民主党としても、決してこれで良いと考えている訳ではありません。しかし全会一致が原則の「議会改革協議会」で有ることをご理解頂きたいと思います。

まだまだ、定数問題など課題は山積しており、不満の方もいらっしゃるかもしれませんが、まずは第一歩です。